

中央大学リーガル・キャリア・サポート委員会主催
就職対策セミナー（2014年9月2日開催）

就職書類の書き方

中央大学法科大学院では、リーガル・キャリア・サポート委員会を組織し、在学生・修了生のみなさんに対して進路決定・就職に関するサポートを行っています。

法律事務所や企業の求人に応募したいが、これまで就職活動を経験せず法科大学院に入ったため、エントリーシートや履歴書の書き方が分からないという修了生が多くいらっしゃいます。ほとんどの法律事務所や企業は1次審査を書類選考で行っており、応募者の半数以上が書類選考で落とされていることから、書類の作成は非常に重要なポイントの1つといえます。

そこで、リーガル・キャリア・サポート委員会では、「就職対策セミナー ―就職書類の書き方―」を企画し、キャリアコンサルタントとして、司法修習生や法科大学院など高度な専門スキルを持つ人材支援を担当している加賀美文久氏（株式会社インテリジェンス）に講師を務めていただきました。

まず前半では、司法関連ニーズの分析についての説明がありました。

求職者がアピールしたいことが、必ずしも採用側が期待していることと一致しているとは限らず、とりわけ法律専門職を志向する者は、法的判断を行うための法律知識の多寡が



重要であるかのように思いがちであるが、特に企業の採用においては法律知識の多寡よりも、ビジネス感覚と謙虚さとを兼ね備えたバランスの良い人材であることを重視する傾向が強く、このようなギャップを防ぐためにも、当該企業の状況およびニーズを的確にキャッチすることが重要である、とのことでした。

つづいて後半では、書類・面接対策についての説明がありました。

書類作成においては、企業研究を元に企業のニーズを把握し、それに対して自分は何ができるか、謙虚さやビジネス感覚を散りばめながらシンプルに記載すること、また面接は書類の内容を元に進められることから、書類からの一貫性が重要である、とのことでした。

90分間の講演はあっという間に終了し、参加者からは、「悩んでいたことを聞くことができて良かった。」「早い段階で話を聞いて良かった」などの感想が寄せられました。

リーガル・キャリア・サポート委員会では、今後も講演会等のイベントを実施していきます。在学生また修了生のみなさん、積極的にご参加ください。